

1. ICT委員会 会議報告

愛知大学情報メディアセンターの事業および運営は、ICT企画会議のもと、三校舎合同のITC委員会を設置し、豊橋および名古屋(車道メディアゾーン含む)情報メディアセンターの事業を推進する。

2012年10月から2013年9月に開催されたICT委員会は次の通りである。

2012年度

◇第1回 11月1日

1. 豊橋校舎PC入れ替えについて
2. メールシステムについて
3. 次年度の開館スケジュールについて
4. 学部Webサーバについて(地域政策学部、国際コミュニケーション学部よりの要望)
5. 貸出ノートPC延滞ペナルティについて
6. その他

協議・報告事項

1. Moodleの利用状況について
2. その他

◇第2回 11月29日

1. メールシステムについて
2. 来年度予算申請について
3. 来年度実習室ソフトウェア利用申請について
4. LMS運営協議会 委員の選出について
5. その他

協議・報告事項

1. 豊橋校舎PC入れ替えについて
2. その他

◇第3回 1月25日～1月28日(メール)

1. 実習室ソフトウェア利用申請について

2. DVDの購入について

3. 着任前新任教員のSSL-VPN利用について
4. 2013年2月～3月の開館について
5. 情報メディアセンター規程改正について
6. その他

協議・報告事項

1. 豊橋実習室PC更新の環境について
2. その他

◇第4回 2月26日

1. 実習室システムについて
2. 実習室ソフトウェア利用申請について
3. その他

協議・報告事項

1. その他

2013年度

◇第1回 5月9日

1. メールシステム更新について
2. 情報セキュリティ部会のITC委員会推薦委員の選出について
3. 2013年度 COM編集委員の選出について
4. COMの要項の改定について

協議・報告事項

1. 実習室システム及び印刷管理システムの調達結果および今後のスケジュールについて
2. 2012年度Moodle活動報告について

◇第2回 7月4日

1. メールシステムの入れ替えについて
2. 校友センターより依頼の生涯メールアドレスの発行について
3. SINET4への加入について
4. 秋学期実習室ソフトウェア利用申請について
5. 業務委託（SE, 受付）について
6. 教育研究用Webサーバ更新について
7. 貸出ノートPC延滞ルール 一部変更について

協議・報告事項

1. 第2期工事要望書について

1. メディアセンター利用者アンケートについて

2. 情報メディアセンター主催行事 (2012年10月～2013年9月)

◆豊橋校舎

開 講 日	講 習 会 名	教室	参加人数
10月12日(金)	Excel基礎講習会	413教室	7人
10月17日(水)	Excel応用講習会	413教室	2人
10月22日(月)	PowerPoint講習会	413教室	5人
11月9日(金)	PowerPoint講習会	413教室	3人
11月13日(火)	Excel基礎講習会	421教室	5人
11月22日(木)	Excel応用講習会	424教室	3人
4月25日(木)	Word基礎講習会	423教室	4人
5月3日(金)	PowerPoint講習会	413教室	14人
5月7日(火)	Excel基礎講習会	421教室	17人
6月7日(金)	Word基礎講習会	413教室	5人
6月11日(火)	Excel基礎講習会	421教室	14人
6月25日(火)	Excel基礎講習会	421教室	5人

◆名古屋校舎

開 講 日	講 習 会 名	教室	参加人数
10月10日(水)	グラフ作成講習会	L713教室	5人
10月25日(木)	グラフ作成講習会	L713教室	1人
10月30日(火)	文書作成講習会	L712教室	2人
11月6日(火)	文書作成講習会	L713教室	1人
11月12日(月)	グラフ作成講習会	L713教室	1人
11月21日(水)	グラフ作成講習会	L713教室	1人
12月11日(火)	文書作成講習会	L707教室	1人
12月13日(木)	文書作成講習会	L712教室	1人
12月18日(火)	グラフ作成講習会	L712教室	1人

開 講 日	講 習 会 名	教 室	参加人数
12月18日（火）	グラフ作成講習会	グループワークルーム2	1人
2月1日（金）	文書作成講習会	W403	1人
2月1日（金）	グラフ作成講習会	W403	1人
2月15日（金）	グラフ作成講習会	W403	5人
2月15日（金）	文書作成講習会	W403	6人
2月20日（水）	グラフ作成講習会	W403	13人
2月26日（火）	グラフ作成講習会	W403	6人
3月6日（水）	グラフ作成講習会	W403	6人
3月12日（火）	文書作成講習会	W403	1人
3月19日（火）	文書作成講習会	W403	1人
3月28日（木）	グラフ作成講習会	W403	5人
3月29日（金）	グラフ作成講習会	W403	5人
4月11日（木）	グラフ作成講習会	L713教室	4人
4月16日（火）	文書作成講習会	L713教室	2人
4月17日（水）	文書作成講習会	グループワークルーム1	4人
4月18日（木）	グラフ作成講習会	L713教室	2人
4月20日（土）	グラフ作成講習会	L713教室	2人
4月25日（木）	文書作成講習会	L713教室	2人
5月1日（水）	文書作成講習会	L712教室	6人
5月8日（水）	グラフ作成講習会	L712教室	6人
5月10日（金）	グラフ作成講習会	L713教室	1人
5月17日（金）	文書作成講習会	L713教室	2人
5月21日（火）	グラフ作成講習会	W402教室	2人
6月5日（水）	文書作成講習会	L712教室	1人
6月10日（月）	グラフ作成講習会	L712教室	1人
6月12日（水）	グラフ作成講習会	W402教室	20人
6月21日（金）	グラフ作成講習会	L713教室	5人

開 講 日	講 習 会 名	教 室	参加人数
6月25日（火）	PowerPoint 講習会	W403教室	6人
6月26日（水）	文書作成講習会	L713教室	1人
7月2日（火）	文書作成講習会	L709教室	1人
7月3日（水）	グラフ作成講習会	L712教室	1人
7月5日（金）	PowerPoint 講習会	グループワークルーム1	2人
7月8日（月）	文書作成講習会	L713教室	1人
7月9日（火）	グラフ作成講習会	グループワークルーム2	2人
7月12日（金）	グラフ作成講習会	グループワークルーム1	1人
8月6日（火）	グラフ作成講習会	W404教室	1人
8月6日（火）	文書作成講習会	W404教室	1人
8月20日（火）	PowerPoint 講習会	W403教室	7人
9月20日（金）	PowerPoint 講習会	W402教室	15人

◆車道校舎：主催行事なし

2012年度LMS運営協議会活動報告

1. LMS運営協議会について

本協議会は、ICT企画会議のもと、LMSの安定的な運用を行うことを任務とし、LMSシステムの利用促進及び教材の電子化促進を行い、本学における教育研究活動の発展に資することを目的として発足した。

(A) 委員構成

委員の構成は以下の通り。

- ① 委員長 伊藤 博文 教授 (ICT企画会議選出)
- ② 委員 蔣 湧 教授 (豊橋ICT委員会推薦)
龍 昌治 教授 (豊橋教学委員会推薦)
齋藤 毅 准教授 (名古屋教学委員会推薦)
岩田 員典 准教授 (名古屋ICT委員会推薦)
三浦 文博 課長 (情報システム課)
- ③ 事務幹事 石原 有希子 係長 (豊橋情報メディアセンター事務室)
秦 俊一郎 係長 (情報システム課)
小川 晃史 課員 (情報システム課)

なお、Moodleの運営にあたっては、以下の協力を得た。

豊橋校舎担当：株式会社コネクティボ 内田 広幸 (運用保守業務委託先)

名古屋校舎担当：運営堂 森野 誠之 (運用保守業務委託先)

(B) LMS運営協議会

2012年度における活動は以下の通り。

◆第1回：2012年6月28日 (木) 11:00~12:15

- 議題：1. 今後のLMS運営協議会について
2. Moodleのバージョンアップについて
3. 2012年度年間スケジュールについて
4. その他

協議・報告事項

- 1. Moodleの利用状況報告
- 2. その他

2. Moodle講習会

Moodleの利用促進のため、Moodle利用講習会を以下の通り実施した。

①第11回Moodle講習会

第11回教員向け Moodle 講習会のお知らせ!

1. 日時 【初心者向け講習会】名古屋校、豊橋校 6月21日(木)、2限(名古屋校 10:45～、豊橋校 11:00～)
【利用者向けワークショップ】名古屋校、豊橋校 6月21日(木)、3限(名古屋校 13:00～、豊橋校 13:20～)

2. 場所 名古屋校：講義棟L714教室 / 豊橋校：5号館 514教室

3. 初心者向け講習会内容
● 講習会説明
● 利用方法
● 予約依頼、セキュリティ対策等の紹介

4. 利用者向けワークショップ
● 予約依頼ワークショップ
● 予約依頼ワークショップ
● 予約依頼ワークショップ

5. 講師 名古屋校：渡辺 豊樹 / 豊橋校：株式会社コネクティブ 内田 聡

6. その他

講習会に関するお問い合わせ先

校舎	開催日時	場所	参加者
豊橋	6月21日 2限	5号館 514教室	2
	6月21日 3限	5号館 514教室	3
名古屋	6月21日 2限	講義棟L714教室	0
	6月21日 3限	講義棟L714教室	0

表1. 第11回Moodle講習会 参加状況

②第12回Moodle講習会

第12回教員向け Moodle 講習会のお知らせ!

1. 日時 【初心者向け講習会】名古屋校、豊橋校 9月27日(木)、2限(名古屋校 10:45～、豊橋校 11:00～)
【利用者向けワークショップ】名古屋校、豊橋校 9月27日(木)、3限(名古屋校 13:00～、豊橋校 13:20～)

2. 場所 名古屋校：講義棟L713教室 / 豊橋校：5号館 514教室

3. 初心者向け講習会内容
● 講習会説明
● 利用方法
● 予約依頼、セキュリティ対策等の紹介

4. 利用者向けワークショップ
● 予約依頼ワークショップ
● 予約依頼ワークショップ
● 予約依頼ワークショップ

5. 講師 名古屋校：渡辺 豊樹 / 豊橋校：株式会社コネクティブ 内田 聡

6. その他

講習会に関するお問い合わせ先

校舎	開催日時	場所	参加者
豊橋	9月27日 2限	5号館 514教室	2
	9月27日 3限	5号館 514教室	2
名古屋	9月27日 2限	講義棟L713教室	2
	9月27日 3限	講義棟L713教室	2

表2. 第12回Moodle講習会 参加状況

③第13回Moodle講習会

第13回教員向け Moodle 講習会のお知らせ!

1. 日時 【初心者向け講習会】名古屋校、豊橋校 3月21日(木)、2限(名古屋校 10:45～、豊橋校 11:00～)
【12年度コースの13年度への移行方法の説明】名古屋校、豊橋校 3月21日(木)、3限(名古屋校 13:00～、豊橋校 13:20～)

2. 場所 名古屋校：厚生棟W403教室 / 豊橋校：4号館 413教室

3. 初心者向け講習会内容
● 講習会説明
● 利用方法
● 予約依頼、セキュリティ対策等の紹介

4. 12年度コースの13年度への移行方法の説明
● 移行方法説明
● 移行方法説明
● 移行方法説明

5. 講師 名古屋校：渡辺 豊樹 / 豊橋校：株式会社コネクティブ 内田 聡

6. その他

講習会に関するお問い合わせ先

校舎	開催日時	場所	参加者
豊橋	3月21日 2限	4号館 413教室	1
	3月21日 3限	4号館 413教室	0
名古屋	3月21日 2限	厚生棟W403教室	2
	3月21日 3限	厚生棟W403教室	4

表3. 第13回Moodle講習会 参加状況

3. Moodle 利用状況

(A) コース利用状況

運用開始4年目の2012年度は、377コース、延べ201名の教員の利用があった。
合計コース数は、前年度と比較して15%以上増えている。

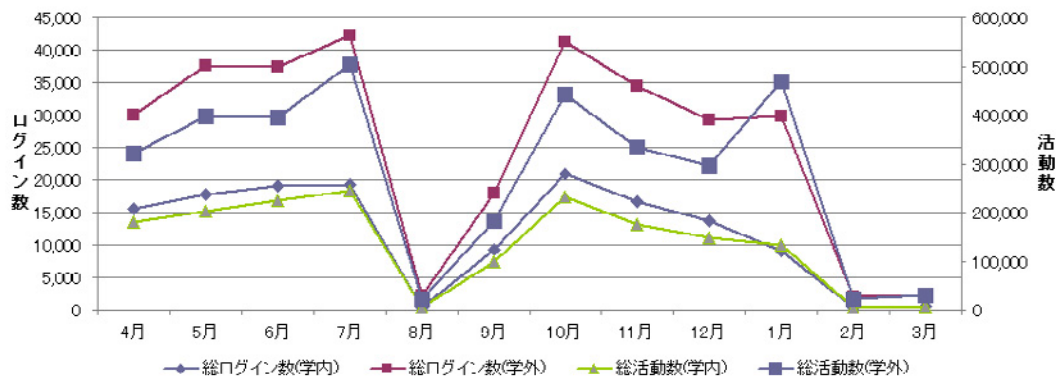
表4. 2012・2011年度コース登録数及び利用教員数（利用人数は、延べ人数）

カテゴリ	12年度春学期		12年度秋学期		合計		前年比率	
	コース数	教員数	コース数	教員数	コース数	教員数	コース数	教員数
共通教育科目〈豊橋〉	36	16	11	4	47	20	65%	67%
共通教育科目〈名古屋〉	63	28	40	23	103	51	147%	170%
法	14	10	5	4	19	14	146%	156%
現中	18	11	8	5	26	16	200%	267%
経営	44	19	10	5	54	24	120%	133%
経済	15	12	4	3	19	15	86%	88%
文	20	8	7	3	27	11	150%	79%
国コミ	24	11	1	1	25	12	76%	120%
地域	9	6	9	5	18	11	600%	550%
短大	11	6	3	2	14	8	467%	400%
法科	8	4	0	0	8	4	50%	50%
会計	7	5	1	1	8	6	89%	86%
大学院	3	3	1	1	4	4	67%	133%
資格課程	0	0	0	0	0	0	0%	0%
その他	3	3	2	2	5	5	500%	500%
合計	275	142	102	59	377	201	116%	126%

カテゴリ	11年春学期		11年秋学期		合計		前年比率	
	コース数	教員数	コース数	教員数	コース数	教員数	コース数	教員数
共通教育科目〈豊橋〉	43	18	29	12	72	30	107%	94%
共通教育科目〈名古屋〉	47	21	23	9	70	30	194%	136%
法	12	8	1	1	13	9	100%	75%
現中	8	4	5	2	13	6	93%	75%
経営	37	14	8	4	45	18	82%	86%
経済	16	12	6	5	22	17	61%	74%
文	9	7	9	7	18	14	225%	200%
国コミ	17	5	16	5	33	10	220%	250%
地域	2	1	1	1	3	2	-	-
短大	11	5	5	3	16	8	67%	62%
法科	8	6	1	1	9	7	75%	88%
会計	5	2	1	1	6	3	86%	60%
大学院	1	1	0	0	1	1	100%	100%
資格課程	3	3	1	1	4	4	133%	133%
その他	0	0	1	1	1	1	-	-
合計	219	107	107	53	326	160	112%	101%

(B) サイトアクセス状況

図1. 2012年度 学内・学外からのログイン数・活動数推移 (月別)



		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2010年度	総ログイン数(学内)	15,589	12,407	16,274	13,758	455	9,254	17,106	14,745	13,861	7,017	407	923
	総ログイン数(学外)	10,111	7,693	8,078	8,920	1,551	4,573	8,975	9,201	8,159	9,625	997	944
	総活動数(学内)	198,620	130,358	173,414	178,588	4,098	97,543	187,948	150,412	157,634	85,242	3,758	12,055
	総活動数(学外)	90,619	66,497	83,592	93,971	10,357	40,686	123,332	123,373	112,729	124,579	10,315	7,608
	ログインあたり活動数(学内)	12.74	10.51	10.66	12.98	9.01	10.54	10.99	10.20	11.37	12.15	9.23	13.06
	ログインあたり活動数(学外)	8.96	8.64	10.35	10.53	6.68	8.90	13.74	13.41	13.82	12.94	10.35	8.06
2011年度	総ログイン数(学内)	20,131	19,980	19,950	19,680	559	8,233	22,786	16,624	14,963	10,187	430	319
	総ログイン数(学外)	7,708	9,772	8,584	13,532	1,479	5,571	18,275	15,418	14,514	18,306	2,228	1,354
	総活動数(学内)	272,604	254,643	264,021	298,172	5,246	91,321	273,863	207,209	171,759	160,292	8,141	2,396
	総活動数(学外)	93,214	123,233	109,315	212,631	13,916	54,658	268,541	217,691	175,628	241,770	22,253	8,556
	ログインあたり活動数(学内)	13.54	12.74	13.23	15.15	9.38	11.09	12.02	12.46	11.48	15.73	18.93	7.51
	ログインあたり活動数(学外)	12.09	12.61	12.73	15.71	9.41	9.81	14.69	14.12	12.10	13.21	9.99	6.32
2012年度	総ログイン数(学内)	15,530	17,858	18,988	19,311	406	9,196	20,924	16,668	13,779	9,039	370	564
	総ログイン数(学外)	14,516	19,652	18,351	22,994	1,848	8,676	20,375	17,743	15,522	20,803	1,690	1,671
	総活動数(学内)	181,336	201,265	224,048	244,997	5,165	98,931	230,957	174,477	149,246	133,412	5,715	8,637
	総活動数(学外)	138,848	195,203	170,105	259,692	15,931	83,282	211,779	159,492	146,829	334,989	15,460	21,869
	ログインあたり活動数(学内)	11.68	11.27	11.80	12.69	12.72	10.76	11.04	10.47	10.83	14.76	15.45	15.31
	ログインあたり活動数(学外)	9.57	9.93	9.27	11.29	8.62	9.60	10.39	8.99	9.46	16.10	9.15	13.09
前年同月比	総ログイン数(学内)	77.1%	89.4%	95.2%	98.1%	72.6%	111.7%	91.8%	100.3%	92.1%	88.7%	86.0%	176.8%
	総ログイン数(学外)	188.3%	201.1%	213.8%	169.9%	124.9%	155.7%	111.5%	115.1%	106.9%	113.6%	75.9%	123.4%
	総活動数(学内)	66.5%	79.0%	84.9%	82.2%	98.5%	108.3%	84.3%	84.2%	86.9%	83.2%	70.2%	360.5%
	総活動数(学外)	149.0%	158.4%	155.6%	122.1%	114.5%	152.4%	78.9%	73.3%	83.6%	138.6%	69.5%	255.6%

3. ICT委員会構成員

◆ICT委員（2013年10月1日現在）

役職名	所 属	氏 名
情報メディアセンター所長	法 学 部	中尾 浩
委 員	文 学 部	近藤 暁夫
	地 域 政 策 学 部	駒木伸比古
	短 期 大 学 部	龍 昌治
	法 学 部	松井 吉光
	経 営 学 部	岩田 員典
	現代中国学部	土橋 喜
	経 済 学 部	阿部 武彦
	国際コミュニケーション学部	梅垣 敦紀
	法 科 大 学 院	春日 修
	会 計 大 学 院	栗濱竜一郎

◆情報メディアセンター事務室

情報システム課	課 長	三浦 文博
	係 長	秦 俊一郎
	課 員	小川 晃史
		石川 彰吾
豊橋情報メディアセンター事務室	係 長	石原有希子
情報システム課 車道分室	係 長	水谷 伸司

4. 愛知大学 情報メディアセンター沿革・歴代所長

年度	組織		所長（任期）		システム沿革
			豊橋	名古屋	
1978					IBM製ホストコンピュータ4331 導入
1979					
1980	電子計算機センター	電子計算機センター委員会	津村 善郎 (1980. 4. 1～1982. 4. 30)		
1981					
1982			福田 治郎 (1982. 5. 1～1983. 3. 31)		
1983			福田 治郎 (1983. 4. 1～1985. 3. 31)		
1984					
1985			高橋 正 (1985. 4. 1～1987. 3. 31)		
1986					
1987			高橋 正 (1987. 4. 1～1989. 3. 31)		
1988					第1期教育研究情報システム稼動 1988.4-1991.3
1989	情報処理センター	情報処理センター委員会 豊橋情報処理センター委員会 名古屋情報処理センター委員会	藤田 佳久 (1989. 4. 1～ 1989. 5. 31)	坂東 昌子 (1989. 4. 1～ 1990. 9. 30)	日立製ホストコンピュータ(HITAC M-640/20) 導入
1990			藤田 佳久	浅野 俊夫	
1991			(1990. 10. 1～1992. 9. 30)		第2期教育研究情報システム稼動 1991.4-1994.3
1992			藤田 佳久	有澤 健治	
1993			(1992. 10. 1～1994. 9. 30)		
1994			樋口 義治	長谷部 勝也	第3期教育研究情報システム稼動 1994.10-1997.3 (全校舎学内LAN敷設)
1995			(1994. 10. 1～1996. 9. 30)		
1996			樋口 義治	長谷部 勝也	
1997			(1996. 10. 1～1998. 9. 30)		第4期教育研究情報システム稼動 1997.4-2000.9 (延長6ヶ月)
1998			宮沢 哲男	有澤 健治	
1999			(1998. 10. 1～2000. 3. 31)		
2000			小津 秀晴	有澤 健治	
			(2000. 4. 1～2000. 9. 30)		
			小津 秀晴	田川 光照	10月 第5期教育研究情報システム稼動
2001			(2000. 10. 1～2002. 9. 30)		
2002			龍 昌治	坂東 昌子	
2003			(2002. 10. 1～2004. 9. 30)		
2004	情報メディアセンター	情報メディアセンター委員会 豊橋情報メディアセンター委員会 名古屋情報メディアセンター委員会	龍 昌治	坂東 昌子	4月 第6期教育研究情報システム稼動
2005			(2004. 10. 1～2006. 9. 30)		
2006		情報メディアセンター運営会議 豊橋情報メディアセンター運営会議 名古屋情報メディアセンター運営会議	龍 昌治	中尾 浩	
2007			(2006. 10. 1-2008. 9. 30)		
2008		ICT企画会議 豊橋ICT委員会 名古屋ICT委員会	蔣 湧	伊藤 博文	4月 第7期教育研究情報システム稼動
2009			(2008. 10. 1～2010. 9. 30)		
2010			沓掛 俊夫	伊藤 博文	
2011			(2010. 10. 1～2012. 9. 30)		
2012		ICT委員会	中尾 浩		4月 新名古屋校舎システム稼働
2013			(2012. 10. 1～2014. 9. 30)		

5. 自 己 紹 介

情報システム課 車道分室 水谷 伸司

1994年に初めて全学情報ネットワークが完成した際にネットワーク管理者として本学に中途採用で赴任し10年間、三好校舎・豊橋校舎の情報メディアセンターで勤務し、その後、豊橋校舎および車道校舎の総務課で8年間勤務を経て、2013年4月の人事異動により情報システム課・車道分室に配属となりました。

今回は久々の情報システム課への復帰ということで不慣れな点多々あるかと思えますがよろしく願いいたします。

情報システム課 石川 彰吾

2013年度より情報システム課に配属されることになりました、石川彰吾と申します。私は今年度、新規学卒者で愛知大学に採用されました。したがって情報システム課が私の社会人第一歩となる部署です。

私は大学4年間を愛知大学で過ごしました。履修する科目はどれもパソコンの知識や技術を必要としないものを選択し、極力パソコンを遠ざけて毎日を過ごしておりました。おかげでパソコンの知識はほぼ0に近い状態で社会に飛び出してしまい、恥ずかしながら、OSやブラウザといった常識的な単語も社会人になってから初めて知りました。

こんなにもパソコンに対する知識が乏しい私がなぜ情報システム課に配属されたのか、言い渡された瞬間は耳を疑いました。どの部署に配属されても何とか乗り越えていこうと考えていましたが急に不安でいっぱいとなってしまいました。

配属されてすぐは(今もですが)、わからないことが多すぎて自分がどこまで仕事が把握できているのかさえ線引きができませんでした。

そんな私ですが、配属されて半年以上経った今、ようやく自分がやっていることはやりたかった仕事だと気づくことができました。私は、直接的ではなくても愛知大学で学んだ学生が、将来社会に貢献できるように土台作りを担いたいと思い、愛知大学を就職先を選びました。ゆえに、学生も教職員も誰もが使うパソコンを当たり前のように使える環境を作る今の仕事は、普段あまり意識はされなくても学生や学生を支援する教職員の手助けができていたので志望した通りの仕事だと思います。

社会人になるまでパソコンから逃げ続けた付けを清算するまでには、まだまだ先が長いですが、日々精進してまいります。今後ともよろしくお願い致します。

編集後記

学内で発行する研究紀要への投稿数が減る傾向にある。本誌COMも2007年度以来、年1回の発行にとどまっております、編集委員会の一人としても、反省を禁じえない。今号の投稿記事を見ると、編集委員、ICT委員のいわゆる身内に限られ、いささか同人誌的とのそしりを免れないところであろう。

7学部I短大、大学院を擁する文系総合大学を標榜する愛知大学において、情報理論や計算機科学を専攻する研究者が限られていることは事実である。一方で、近年の情報技術は、コンピュータ技術ではなく、むしろ文字情報や音声・画像情報を扱う通信技術である。文系科学が得意とする「テキスト」や「リテラル」を扱う科学といってもよい。

一方で小中学校や高校などの例を出すまでもなく、情報機器は多くの教室で使われる教育機器となっている。パソコンは言うに及ばず、小型で低価格のタブレット端末は急速に普及し、学校単位や市町村単位での導入が進んでいる。個人の所有するスマートフォンを利用するなど、個人が常に持ち歩く情報端末と、そのための教材開発や利用研究も盛んに行われている。

大学教育をめぐっても、資料映像などの情報メディアを活用した反転教育や、LMSやポータルフォリオなどを取り入れた授業運営などが話題になっている。場合によっては数百人にもなる受講生を対象にした講義科目において、学生一人一人の理解度を把握したり、学生同士の議論やレポートを取り入れたりするには、情報技術は多いなる助けになる。すでに多くの方々が、日々の授業運営や研究活動において情報技術を利用されているし、事務職員の方たちによる教務などの高度なシステムの運営も、珍しいものではない。専任教員のみならず、非常勤教員あるいは事務職員のみなさんの実践研究を公表し、議論しながら高めていく場として、COMが活用されることを期待したい。

(R)

愛知大学情報メディアセンター紀要〈COM〉 原稿募集要項

情報メディアセンター紀要〈COM〉は、下記の要領で原稿を募集しています。詳細につきましては、情報メディアセンターまでお問い合わせください。

1. 著者の資格

- (1) 本学教職員および本学教職員との共著者
- (2) 本学非常勤教員
- (3) 本学学生（教員と共著とする。）
- (4) 編集委員会が認めたもの

2. 投稿原稿の内容

投稿原稿は未発表のもので、下記に關係する内容とする。

- (1) 情報教育に関する理論と実践
- (2) 情報科学や情報工学に関する理論とその応用
- (3) 情報システムに関する調査、分析、理論
- (4) コンピュータを活用した研究、教育、および業務等の実践報告
- (5) 本学のコンピュータ利用に関して必要と思われる情報メディアセンターの報告
- (6) その他（編集委員会が認めたもの）

3. 投稿原稿の区分

投稿された原稿は編集委員会によって、下記のように区分して掲載する。また執筆要項に従わないなどの問題があるものは、原稿の修正を依頼することや、掲載を見合わせることもある。

- (1) 論文
- (2) 研究ノート
- (3) 情報教育実践報告
- (4) ソフトウェアレビュー
- (5) 書評（新刊・古典）
- (6) 学会動向

※原稿の体裁と見本については別紙を参照のこと。

4. 原稿の提出要領

- (1) 原稿は、プリントアウトしたものと電子ファイルの双方を提出すること。
- (2) 完成された投稿原稿のみを受理する。
- (3) 提出する電子ファイル名は、投稿原稿のタイトルとすること。
- (4) 図版等がある場合は、その電子ファイルもあわせて提出すること。
図版等のファイル形式はjpegとする。

(5) 提出ファイルは、Microsoft Wordまたはテキスト形式とする。

(6) 裏表紙（目次用）として、タイトル、著者名の英文を添えること。

(7) 著者は連絡先（ゲラ等の送付先）の住所、電話番号を申し込み先の担当者まで連絡すること。

5. 投稿原稿の体裁

投稿原稿は横書きとし、図・表などは適切な場所に分かりやすく挿入すること。なお、投稿原稿はCOM編集委員会にて共通したフォーマットに統一する。

6. 校正

(1) 校正は著者校正を2回とする。

(2) 校正段階での内容の変更は、総ページ数を変更しない範囲で行なうこと。

7. 著作権

(1) 提出された論文の著作権は、原則として愛知大学情報メディアセンターに属し、無断で複製あるいは転載することを禁じる。

(2) 論文作成に際して用いたコンピュータソフトや映像ソフト等の著作権に関する問題は、著者の責任において処理済みであること。他人の著作権の侵害、名誉毀損、その他の問題が生じないよう十分に配慮すること。

(3) 万一、執筆内容が第三者の著作権を侵害するなどの指摘がなされ、第三者に損害を与えた場合、著者がその責を負う。

(4) 著作人格権は著者に属する。

(5) 本誌への掲載が確定した原稿は、愛知大学情報メディアセンターホームページにて公開するものとする。

(6) 投稿された原稿は、国立情報学研究所等へ登録される。

8. その他

(1) 別刷りは論文及び研究ノートに対し各30部作成し、著者代表者に無料で進呈する。

30部以上を希望する場合には有料とする。

(2) 著者には紀要を2部進呈する。ただし希望があれば10部を限度として進呈する。

以上

申し込み・問い合わせ：愛知大学情報メディアセンター

担当：情報システム課 小川・石川

E-mail：johosystem@ml.aichi-u.ac.jp

TEL：052-564-6117（内線20553）

FAX：052-564-6217（内線20569）

愛知大学情報メディアセンター紀要〈COM〉執筆要項

1. 執筆言語

和文もしくは英文とする。

2. 原稿

- (1) 論文……和文の場合は5000文字程度、英文の場合は3500 words程度。
ただし、図版等の数量に応じて調節すること。
- (2) 研究ノート……和文の場合は3000文字程度、英文の場合は3500 words程度。
ただし、図版等の数量に応じて調節すること。
- (3) 情報教育実践報告……和文の場合は3000文字程度、英文の場合は3500 words程度。ただし、図版等の数量に応じて調節すること。
- (4) ソフトウェアレビュー……和文の場合は3000文字程度、英文の場合は3500 words程度。ただし、図版等の数量に応じて調節すること。
- (5) 書評（新刊・古典）……和文の場合は900文字程度、英文の場合は600 words程度。ただし、図版等を挿入することはできない。
- (6) 学会動向……COMのフォーマットに従う。
なお、長文の原稿（24000文字以上）は分載するかまたは内容を削除する。

3. 著者と所属

著者名と所属を記載し、著者名のあとにカッコ（ ）に入れて所属を記載する。

4. セクションタイトルとセクション記号

本文中の章、節、項、目などの立て方は、原則として以下のとおりとする。

(例)

1. 章タイトル
- 1.1 節タイトル
- 1.1.1 項タイトル
- (1) 目タイトル

5. 図・表・写真

図・表・写真は、本文中の適当な箇所に挿入すること。または、挿入箇所を明確にすること。

ただし、COM編集委員会にて挿入位置、サイズを変更する必要があるが、変更不可の場合は明記のこと

(1) 表について

表の上部に「表○ 表名」（○は表の一連番号）を記載すること。

(2) 図・写真について

図・写真の下部に「図○ 図名」（○は図の一連番号）または「写真○ 写真名」（○は写真の一連番号）を記載すること。

6. 要旨とキーワード

論文と研究ノートには要旨とキーワードをつける。要旨は400字以内(200words以内)で執筆し、本文と同じ言語でもよいし、異なった言語でもよい。キーワードは国立情報学研究所のcinii等への正確な登録のために、5～7語程度のキーワードをつける。

7. 謝辞

謝辞を記載する場合は、本文の最後に謝辞と小見出しを使い記載する。

8. 注

注を記載する場合は、以下のいずれかの方法による。

- (1) 該当ページの下部または見開きの前後2ページ分の後のページの本文の下部に脚注として記載する。
- (2) 本文の末尾に後注として一括して記載する。本文の後に1行空けてから「注」という見出しを立て、その次の行から、注を一括して記載する。

上記のいずれの場合も本文中の該当箇所には、番号と右丸括弧を使い^{注1)}のように上付きで記すこと。

9. 参考文献

参考文献の記載は、本文の後（注がある場合は注の後）に1行空けてから「参考文献」という見出しを立て、その次の行から、参考文献を一括して記載すること。本文中の該当箇所には、番号と右丸括弧を使い1)のように上付きで記すこと。

参考文献は原則として、雑誌の場合には、著者、標題、雑誌名、巻、号、ページ、発行年を、単行本の場合には、著者、書名、ページ数、発行所、発行年を、この順に記す。引用番号の記し方は本文上に出現した順番とし、次の例を参照にされたい。

(例)

- 1) 山田太郎：偏微分方程式の数値解法，情報処理，Vol.1, No.1, pp.6-10 (1960).
- 2) Feldman, J.and Gries, D.: Translator Writing System, Comm. ACM, Vol.11, No.2, pp.77-113 (1968).
- 3) 大山一夫：電子計算機，p.300，情報出版，東京（1991）.
- 4) Wilkes, M. V: Time Sharing Computer Systems, p.200, McDonald, New York (1990).

以上

愛知大学情報メディアセンター紀要 COM〔コム〕

Vol.24 No.1 第39号

2014年3月1日 印刷

2014年3月1日 発行

編集 愛知大学情報メディアセンター
〔COM〕編集委員会

発行 愛知大学情報メディアセンター

(名古屋) 名古屋市中村区平池町四丁目60-6

〒453-8777 TEL (052) 564-6117 (直通)

FAX (052) 564-6217

(豊橋) 豊橋市町畑町1-1

〒441-8522 TEL (0532) 47-4124 (直通)

FAX (0532) 47-4125

(車道) 名古屋市東区筒井二丁目10-31

〒461-8461 TEL (052) 937-8120 (直通)

FAX (052) 937-8121

印刷 株式会社荒川印刷
